



新人議員としての活動について

4月18日に当選証書を受領した後、23日から議員としての任期が始まり、令和4年出水市議会第1回臨時会、第2回定例会、第3回定例会そして12月21日に第4回定例会の最終日を迎えます。その間、新議員研修会や勉強会、数回の全員協議会・常任委員会（総務病院委員会所属）・特別委員会（広報広聴特別委員会所属）などが行われました。個人としての各定例会での一般質問及び議案に関する質疑および答弁に関しまして下記に抜粋してありますが、詳しい議事録等はホームページの政治課題ページに掲載してあります。またホームページや出水市議会議事録等を閲覧する環境のない方はTELにてお問い合わせ頂ければ、詳しい資料をご準備いたします。全般的な各定例会等の議会内容は年4回自治会を通して配布される「いずみ市議会だより**かけはし**」をご確認ください。第4回定例会の一般質問に関しましては、質問通告書は作成しましたが、鳥インフルエンザの影響による質問日および質問時間の縮小を受け、次回定例会での質問に変更いたしました。



第1回臨時会

新しい議員が当選して初めての臨時会が、5月16日に開催されました。正副議長の選挙、各常任委員等の選出が行われ、新しい議会構成が決まりました。

議長：田上真由美 副議長：北御門伸彦

総務病院委員会 委員長：鶴田均 副委員長：上須田清 委員：池田幸弘 田中秀一 日高信一 北御門伸彦 土屋工吉

文教厚生委員会 委員長：南鶴洋志 副委員長：高崎正風 井伊健一 迫田小百美 吉元勇 田上真由美 出水睦雄

産業建設委員会 委員長：道上正己 副委員長：鮎川浩一 委員：宇都修一 江川野一成 杉本尚喜 中嶋敏子

議会運営委員会 委員長：杉本尚喜 副委員長：高崎正風 委員：上須田清 鶴田均 出水睦雄 中嶋敏子 道上正己

広報広聴特別委員会 委員長：日高信一 副委員長：井伊健一 委員：池田幸弘 田中秀一 南鶴洋志 土屋工吉 田上真由美 杉本尚喜 中嶋敏子 道上正己

監査委員：池田幸弘

北薩広域行政事務組合議会議員：宇都修一 江川野一成 南鶴洋志 日高信一 出水睦雄

出水市自治基本条例推進会議：鮎川浩一 北御門伸彦

出水市都市計画審議会：田中秀一 江川野一成 高崎正風

第2回定例会

市議会は、6月定例会を6月13日から7月8日までの26日間の会期で開催しました。今定例会では、令和4年度各会計補正予算をはじめとして条例の改正など27件の議案等を審査し、また陳情1件を採択としました。今回、各会計予算の補正により一般会計が278億9855万4千円、特別会計（国保など）が合計で、146億805万1千円となり、また企業会計（水道・下水道・病院事業の収益的支出及び貸本的支出の合計）が合計で102億2167万8千円で、全会計を合わせて、527億2828万3千円となりました。また、6月23日から28日にかけて行われた一般質問では、議員16名が登壇し、市政運営について質問を行いました。

出水市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

令和3年7月に日本郵便株式会社と締結した包括連携に関する協定がなされ、地域住民の利便性向上に関することとして各種証明書等の交付事務の委託の協議が整ったことから、地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律に基づき、特定の事務を取り扱う郵便局を指定するもの。

指定する郵便局の名称 米ノ津郵便局 大川内郵便局 福ノ江郵便局 荘郵便局 江内郵便局

取り扱う事務 ①戸籍謄本等の交付 ②納税証明書の交付 ③住民票の写し等の交付 ④戸籍の附票の写し等の交付 ⑤印鑑登録証明書の交付

取り扱う期間 令和4年10月1日から令和6年3月31日まで

一般質問 2022年6月27日(月) 田中秀一 質問順位11番(3日目 3番)

1. 都市計画区域内の狭あい道路について

- (1) 出水市内に建築基準法第4条2項道路として特定行政庁による包括的指定となる、土地を特定せずに一定の条件を満たす道を一括して指定している道路はあるか。また、今後計画があるか。
- (2) 2項道路にみなされる道路位置及び総延べ距離数等について把握されているか。
- (3) これまでに狭あい道路に関し相談や苦情などあったか。あった場合どのような内容でどう対処したか。
- (4) 出水市として、狭あい道路整備等促進事業を活用した情報整備や拡幅整備事業を行ったか、行った場合その内容は。また今後行う予定があるか。
- (5) 2項道路指定の関連として、出水地区に比べ高尾野地区の地籍調査の精度が低いことに関し何か対策をとっているか。

2. 指定管理者制度について

- (1) 出水市において、指定管理者制度が施行された当初の段階での指定管理者制度導入施設数と現在の施設数。
- (2) 過去10年間に指定管理者制度を廃止した施設名と一時的に停止している施設名、またその理由及び新たに指定した施設名。
- (3) 過去10年間で指定管理者が変わったことがある施設名と指定取消があった施設名。
- (4) データのある施設で制度導入前と後(直近)の利用者数及び管理運営費増減の比較値。
- (5) 指定管理者募集の広報の方法と指定期間を決定する基準。
- (6) 管理者の収益納付基準の設定内容と指定管理料の基準額の設定方法。
- (7) 指定管理者制度運用指針(ガイドライン)の有無について。

椎木伸一市長答弁

都市計画区域内の狭あい道路の包括指定についてであります。平成28年に都市計画区域を拡大した際に、鹿児島県において、包括指定し、告示を行っております。なお、今後の包括指定の計画は、今のところないとのことでした。

いわゆる2項道路の位置と距離についてですが、鹿児島県が告示しました2項道路の位置は63か所、総延長距離は1万927.38メートルとなっています。それ以外に、指定された2項道路全体の位置については把握はしていますが、全体の延長については把握できておりません。

2項道路に関する相談や苦情についてですが、住宅を建て替えるときに中心後退が必要かなどの相談は受けておりますが、2項道路に関する苦情の事例はございません。

狭あい道路整備等促進事業の活用についてですが、市ではこれまで同事業の実績はなく、現時点では予定していませんが、平成28年に都市計画区域を拡大した区域では、沿線住民だけでなく、不特定多数の市民が利用する狭あい道路に安全面などで問題が発生することも考えられますので、その際には、狭あい道路の拡幅事業の活用を考えてまいります。

高尾野地域の地籍調査の精度が低いことへの対策についてお答えいたします。高尾野地域の地籍調査は、昭和29年度から54年度にかけて実施していますが、精度が低いため、その成果は法務局では不動産登記法第14条第2項に規定する地図ではなく、同条第4項に規定する地図に準ずる図面として備え付けてあり、一筆ごとの座標値がない状況です。高尾野地域内には、座標値がある基準点が約1,100点ありますので、今後もその管理・保全に努めてまいりたいと考えております。

指定管理者制度についてお答えします。私からは、指定管理者制度の効果など、総括的な部分をお答えし、詳細につきましては政策経営部長から答弁をさせます。指定管理者制度は、多様化する市民のニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用することで市民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的としております。また、施設の管理にとどまらず、自主事業の実施により、民間のアイデアやノウハウを生かした、新たな公共施設の活用や市民ニーズへの対応につなげています。今後も民間事業者の皆様が能力を最大限に発揮していただくために、指定管理者の公募に当たっては、まずは多くの事業者に参加していただく取組を行うとともに、選定においても、コストの削減だけでなく、自主事業の提案等も加味して選定したいと考えております。なお、指定管理者の経営努力により使用料収入が増加した場合は、指定管理者の収入も増加する仕組みとしており、自主事業も含め、経営努力の成果をインセンティブとして付与することで、指定管理者のモチベーションを高めるとともに、公共施設の利用者増や市民サービスの向上につながればと考えております。

ひとこと

新型コロナウイルス感染症の影響を受けはじめて3年、そろそろ活動の自粛は終わりにしなければ社会経済や個人のモチベーションも限界にきているのではないのでしょうか。今回のコロナ禍が与えた最も懸念すべき影響は、これまでは多少無理してでも頑張ろうと思ってやってきたことが、やらなくて良くなる。或いは簡単にやらない選択、参加しない選択ができてしまう。誰かのために頑張ろうとする意欲が少しずつ消えていく、そんな社会になりつつあることです。

いろんな考え方があると思いますが、私は積極的な活動を再開しようと思います。議員としての仕事にもそれは不可欠だと考えます。

第3回定例会

9月定例会を、8月29日から9月30日までの33日間の会期で開催しました。今定例会では、令和4年度各会計補正予算をはじめとして、令和3年度決算の認定、条例の制定など25件の議案等を審査し、陳情1件を継続審査としました。今回の補正により、一般会計が297億503百8千円、特別会計（国保など）が合計で149億2023万円、企業会計（水道・下水道・病院事業の収益的支出及び資本的支出の合計）が合計で102億2924万2千円、全会計合わせて、548億5451万円となりました。また、9月8日から13日にかけて行われた一般質問では、議員15人が登壇し、市政運営について市の考えをいただきました。

一般質問 2022年9月8日（木） 田中秀一 質問順位3番（1日目 3番）

1. 若者世代に関する政策について

- (1) 現在若者世代の福祉の増進を図るための施策として、どのようなものがあるか。
- (2) 地域における若者世代の希望を踏まえた求人に関する情報の収集と提供方法は。
- (3) 若者世代に関する職業訓練や、職業に関し相談できる施設はどのようなものがあるか。
- (4) 若者世代の活用を念頭に質問ですが、市民アンケートやワークショップの結果を踏まえた上での、出水公会堂の活用計画は出来ているか。
- (5) 以前の出水市勤労青少年ホームの廃止直前の利用者数と、その後それに代わる活動の場はどのようなものがあるか。

2. みなし道路の補助金の検討について

- (1) みなし道路（セットバック）部分に関する塀や植木などの撤去費用に関し、補助金制度は検討されたか。

3. 指定管理施設の検討について

- (1) 一般社団法人出水市観光特産品協会の受託している指定管理施設選定要綱（募集要項）の資格要件を出水市公の施設の指定管理者の公募に関する要綱第2条ただし書き及び総務省平成30年4月25日付け総行行第94号通知に沿った形で変更することを検討されたか。
- (2) 市民プールの昼休み時間の廃止について検討されたか。

椎木伸一市長答弁

若者世代の福祉の増進を図るための施策についてであります。「青少年の雇用の促進等に関する法律」の主な目的は、青少年が自分に合った職業を選択できるように努めるとともに、その能力を発揮できるようにサポートすることだと認識しており、出水市としましては、その一環としてハローワーク出水と連携し、「求人情報いずみ」を市ホームページに掲載するとともに、広報いずみの仕事図鑑で市内企業の紹介をしているところであります。

求人に関する情報の収集と提供方法についてであります。これらの活動は基本的にハローワーク出水が行っており、求職者が直接出向いて収集する方法と、自宅のパソコン等からハローワークインターネットサービスにアクセスして、希望の求人を探す方法があります。また、鹿児島県の就職情報サイト「かごJob」でも、県内の企業・求人情報を探すことができます。

職業訓練施設については、出水共同高等職業訓練校があり、建築科及び土木施工科のほか、離職者等を対象としたパソコン基礎科の訓練を実施しているところであります。また、職業に関して相談できる施設としましては、ハローワーク出水や鹿児島市にある「かごしま若者サポートステーション」がございまして、特に、かごしま若者サポートステーションでは、15歳から49歳くらいまでの方を対象に、就労に向けた個別面談、セミナー、職場見学・職場体験、出張相談など、多様な支援サービスが提供されております。

出水公会堂の活用計画についてであります。市民アンケートの結果や市民ワークショップの結果を踏まえまして、令和3年3月に策定いたしました「出水市公共施設個別施設計画」において、まずは施設の今後の在り方、使い方などを検討することとなっております。昭和12年に建築された施設であり、既に85年が経過してはいますが、地元のシンボリックな建物でありますので、それらも踏まえて、今後活用できるように検討してまいりたいと考えております。なお、勤労青少年ホームの機能は出水市民交流センターに移転しており、青少年に限らず幅広い世代で活用していただいております。

平成19年9月に閉所いたしました出水市勤労青少年ホームの利用者数についてであります。ピークが昭和51年度の1万4,993人で、閉所直前の平成17年度は4,112人、平成18年度は3,947人となっております。出水市勤労青少年ホームでは、勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与するため、勤労青少年の憩い又は集会のための施設の提供、レクリエーション及びグループ活動の育成指導・講演会・講習会その他各種教養講座の開催、職業・生活・健康等の指導及び相談などの事業を行ってまいりました。勤労青少年ホームの廃止後については、同じ趣味を持つ方々や多種多様なスポーツのサークルが、市民交流センター、中央公民館、マルマエスポーツセンターなどの公共施設を利用して交流が図られていると考えております。

みなし道路の補助金の検討について、お答えいたします。一般的なみなし道路の塀や植木の撤去については、道路の拡幅工事や用地の分筆登記に係る費用が補助対象となる里道等整備事業や危険ブロック塀等安全確保支援事業において、対応ができることから、引き続き同制度の呼びかけを行ってまいります。なお、既存の補助事業で対象とならない部分については、国の動向や県の取組を見極めながら、他市の取組状況を調査し検討してまいります。

指定管理施設の募集要件の見直しについてであります。前回の定例会でお答えしたとおり、本市は、より高く公平性・透明性を確保する点から、公募・非公募にかかわらず、募集要項及び選定要項に兼業禁止規定を設けているところであります。

市民プールの昼休み時間廃止の検討についてお答えいたします。現在、市民プールの利用時間は午前10時から正午まで及び午後1時から午後9時までとなっております。正午から午後1時までの時間帯については、館内の清掃作業、消毒作業等を行う時間として確保しておりまして、コロナ禍でもありますので、今後こうした利用のない時間帯を設けて、入念に消毒作業等ができるようにしていきたいと考えてはいます。現在の正午から午後1時までの利用については、今後、利用者からアンケートを取るなどして、その意見も踏まえながら検討していきたいと考えております。

議案第65号 2022年8月29日(月)

市道の路線の廃止について

椎木伸一市長説明

市道の路線の廃止について、提案理由を説明いたします。

今回、廃止しようとする路線は、高尾野内陸工業団地内にある市道矢房5号線で、延長165.1メートル、平均幅員7.2メートルの路線であります。本路線は、市道矢房線と市道矢房1号線を結ぶ路線であり、主に工業団地内の連絡道として使用されています。

今回、株式会社マルマエと株式会社マツバラの両社から、工場生産性の向上を目的とし、本路線を工場敷地と一体的に利用するために払下げを目的とした、市道用地用途廃止申請書が提出されました。これに対し、本路線の現況は「出水市市道路線の認定、廃止及び変更に関する事務取扱要綱」第5条第1項に規定する、路線の廃止又は変更の条件のうち同項第2号の「沿道付近の土地における土地利用の変化等により隣接する地権者から払下又は付替の申請がなされた場合で、これを廃止しても支障がないと認められたとき」に該当すると認めたことから、本路線を廃止することについて、道路法第10条第3項の規定に基づきまして、議会の議決をお願いするものであります。

なお、当該申請書には、高尾野内陸工業団地内の8社、及び周辺地域自治会6自治会からの同意書も添付されております。今回の路線廃止に伴い、市道管理路線は1,102路線となり、延長は75万7,488メートルとなります。よろしく御審議の上、御協賛賜りますようお願い申し上げます。

議案第65号 2022年9月30日(金) 田中秀一

市道の路線の廃止について 討論(反対の立場で討論)

今回、この件に関しましては、何も知らない状態で一般市民の方から情報が入ってきました。それがなければ、議会資料をもらうまで知らないままで、資料にも具体的な内容の説明はなく、議会初日に説明を受けて初めて詳しい内容を知りました。このような、直接市民に影響をするような案件は、ぜひ早めに教えてほしいと思います。

市道廃止売却は部長答弁にありましたように、少数であっても利用されている方はあるはずですから、住民にとっては影響が少ないにしてもマイナスだと考えます。また、反対の意見は聞いていないとありましたが、自治会に同意を求めるだけでは住民の意見はなかなか聞こえてこないと思います。確かに、その後の市長答弁にありましたように、マルマエさんやマツバラさんは企業として地域に貢献されています。行政や市民が企業発展に協力することによって、より以上に貢献いただけたとは思いますが、しかし、この件に関し、関係自治会以外の市民はほとんど知らないと思います。利用者が少ないからといっても市道です。このような形で事業者売却する場合は、もう少し市民の意向を調査し、十分に検討すべきだと考えます。

今後、内容を具体的に協議されると思いますが、当然ですが、売却価格については適正な価格をしっかりと把握して、市民の皆さんが納得できるようにしていただきたいと思っております。

いずれにしても、今回は面積が5,000平方メートル以下の案件ではありますが、市道廃止の目的がはっきりしている中、売却に関する詳しい内容が提示されていません。全面的に反対というわけではありませんが、この路線の廃止が結果的に市民にとって、有益なものになるかどうか判断する上で、概算でも2社それぞれの買取り面積や価格、あるいは何等かの直接市民にプラスになるような条件等、提示された上でなければ判断ができません。一般的には契約が成立しなかった場合のことも考え、売買に関する大まかな協議が終わった後に、またその内容を明らかにした上で、市道廃止に関し審議するのが普通だと考えます。この状況で、市道廃止に賛成することは無責任だと感じます。従いまして、今回は提案された市道廃止に関して反対いたします。

ひとこと

今年度は多くのイベント事業が再開される様になりましたが、第8回いずみマチ・テラスは例年に近い形で行われ、予想以上の多くの人たちでにぎわいました。また、10月22日には第1回ツルトライトリレーマラソンIN出水が開催されました。つるマラソン大会が廃止されたのは残念でしたが、それに代わる競技として開催され多くの参加者や応援する皆さんで非常に盛り上がったと感じました。